2008年8月28日

東日本旅客鉄道株式会社

総合防災訓練の実施について

JR東日本では、9月1日の「防災の日」を中心に、総合防災訓練を実施します。

総合防災訓練では、震度6強の大地震が発生したとの想定で、救助救命活動などの初動訓練を本社、支社、現業機関が連携して実施します。

訓練は以下の内容を中心に実施します。

- ・本社及び各支社等における対策本部の設置・運営訓練
- ・社員及びその家族の安否確認訓練
- ・各地区における実働訓練（救助救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）

政府や自治体等と連携した訓練にも参加します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日 時

平成20年9月1日（月）を中心とし、各支社にて設定

2 訓練の想定

東京圏（本社と東京、横浜、八王子、大宮及び千葉の各支社）については本社対策本部の運営訓練を、「7時00分に東京湾北部を震源とするM7.3（震度6強）の地震が発生し、列車の脱線、駅舎の崩壊、火災等の被害が発生し、また広範囲に運転中止区間が発生し、社員の非常参集が必要となった。」との想定で行います。また、各駅においては、同様の想定で地震発生直後の初動対応に重点を置いた訓練を行います。

東京圏以外の支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

3 主な訓練内容

本社対策本部の設置・運営訓練

- ・発災直後、緊急対策本部を東京支社ビルの東京総合指令室に設置します。

- ・本社対策本部要員は、本社対策本部が設置される東京支社ビルに非常参集を行い、体制が整った段階で緊急対策本部を引き継ぎ、本社対策本部を設置、運営訓練を行います。
- ・運営訓練では、東京圏に20箇所設置される情報連絡拠点と本社対策本部との間で、衛星回線を含めた災害時の専用回線等を使用し、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。また、ヘリコプターにより被災状況を調査し本社対策本部への連絡を行います。

安否確認訓練

- ・全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

非常参集訓練

- ・本社、支社、現業機関の社員が、勤務箇所や最寄り駅等の予め定められた箇所へ徒歩等で非常参集を行います。また、横浜支社から本社対策本部へ参集する社員を対象とした舟運による海上移動訓練を実施します。

救助救命等の実働訓練

- ・非常参集した社員を被災現場に派遣した想定で、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実働訓練を警察や消防と協力して行います。また、政府や自治体等が行う訓練にも参加します。

自衛隊ヘリコプターを活用した医療チームの派遣訓練

- ・自衛隊の協力のもと、ヘリコプターによる医療チーム（直営医療機関の医師と看護師）の現地派遣訓練を行います。

4 主な訓練の実施箇所

各支社において、実働訓練を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

平成20年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施箇所	日時	参加数	訓練内容	取材に関するお問い合わせ先
東京	東京支社管内全般	9/1(月) 7:00～11:30	約1500人	東京湾北部を震源とする震度6強の地震発生を想定し、対策本部の設置・運営、情報収集及び伝達訓練の他、非常参集、安否確認訓練を行う。 また、実働訓練として列車の脱線復旧、旅客救済、負傷者の救助救命、避難誘導、仮設設備の設営等の訓練を行う。	東京支社広報 03-5692-6058
横浜	横浜支社管内全般 (横浜駅)	9/1(月) 7:00～13:00	約400人	東京湾北部を震源とする震度6強の地震発生を想定し、安否確認訓練、非常参集訓練及び支社対策本部設置・運営訓練を行う。 また、横浜駅において横浜市と連携し、情報伝達訓練及び一時集合同所への避難誘導案内訓練を実施する。	横浜支社広報 045-320-2033
八王子	八王子支社管内全般	9/1(月) 7:00～13:00	約500人	東京湾北部を震源とする震度6強の地震発生を想定し、安否確認訓練、非常参集及び駅間徒歩移動訓練、情報連絡拠点から本社対策本部、支社対策本部への情報連絡訓練、支社対策本部設置・運営訓練を行う他、駅及びその他の職場の初動体制訓練を実施する。	八王子支社広報 0426-27-6429
大宮	大宮支社管内全般 (宇都宮駅)	9/1(月) 7:00～12:00	約500人	東京湾北部を震源とする震度6強の地震発生を想定し、安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達訓練、支社対策本部設置・運営訓練等を行う。 また、宇都宮駅では消防署と合同で救出救護訓練、避難誘導訓練、応急救護所設置・運営訓練等を実施する。	大宮支社広報 048-642-7420
高崎	高崎支社管内全般	9/1(月) 7:00～12:00	約300人	午前7時に東京湾北部を震源とする震度6強の地震が発生し、高崎支社管内では、上越線津久田駅～岩本駅間で落石が発生したとの想定のもと、支社対策本部及び現地対策本部の設置・運営訓練、安否確認訓練を行う。	高崎支社広報 027-328-7258
	高崎駅	9/5(金) 9:00～13:00	約200名	高崎駅を中心として、高崎中央消防署と合同で防災訓練を実施する。	
水戸	水戸支社管内全般	9/1(月) 7:00～12:00	約850名	午前7時に茨城県鹿島灘沖を震源とする震度6強の直下型地震が発生し、駅進入中の列車が脱線、乗車中のお客さまが負傷した想定で、社員の派遣による救命救助、避難誘導訓練を消防機関と連携し実施する。また、安否確認訓練については、9月1日に限定せず全社員を対象に行う。	水戸支社広報 029-221-6461
	茨城県 常陸大宮市	8/30(土) 9:30～12:30	約3000人 (うち社員 約20人)	平成20年度茨城県・常陸大宮市総合防災訓練に鉄道事業者として参加する。8/30(土)午前9時30分、茨城県(常陸大宮市)付近を震源とする震度6強の直下型地震が発生との想定で、走行中の列車が脱線、車内のお客さまの避難誘導、列車事故救出訓練を警察、消防、自衛隊、医療機関と連携して実施する。	
千葉	千葉支社管内全般 (錦糸町駅)	9/1(月) 7:00～12:00	約650人	東京湾北部を震源とする震度6強の地震発生を想定し、安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達訓練、情報収集訓練、救助派遣訓練を行う。 また、駅における訓練として、錦糸町駅構内の電留線において、お客さまの降車誘導訓練、指定避難場所までの避難誘導訓練を消防署と合同で行うなど、各駅でも独自の訓練を実施する。	千葉支社広報 043-222-0301
仙台	仙台支社管内全般	9/1(月) 7:00～12:00	約1400名	午前7時に宮城県沖を震源とする震度6強の地震発生を想定し、社員の非常参集訓練、安否確認訓練を実施する他、机上訓練を中心とした支社対策本部設置・運営訓練等を実施する。また、駅及びその他の職場においても初動体制訓練を実施する。	仙台支社広報 022-266-9616
盛岡	盛岡支社管内全般 (盛岡駅)	9/1(月) 7:00～12:00	約1000人	三陸沖を震源とする震度6強の地震発生を想定し、社員の非常参集訓練、安否確認訓練、情報伝達訓練、救助救出・避難誘導訓練、被災地への要員派遣訓練等を行う。 また、盛岡駅では駅舎で負傷されたお客さまの救出救護訓練及びエレベーターに閉じ込められたお客さまの救出訓練を実施し、構内では車両・設備等の復旧訓練を実施する。	盛岡支社広報 019-625-4012
秋田	秋田支社管内全般 (吹浦駅)	9/1(月) 7:00～11:00	約600人	秋田県沖を震源とする震度6強の地震発生を想定し、徒歩等による自律的な非常参集訓練、安否確認訓練、支社対策本部設置・運営訓練を行う。 また、羽越本線吹浦駅構内で大津波警報発令時のお客さま避難誘導訓練を実施する。	秋田支社広報 018-831-4224
新潟	新潟支社管内全般	9/1(月) 7:00～12:00	約200人	新潟支社管内全域で震度6強の地震が発生したとの想定で、拠点となる駅に現地対策本部を設置し、駅のお客さま避難誘導訓練、駅間に停車した列車からのお客さま救済訓練等を行う。 また、支社災害対策本部との衛星携帯電話による情報連絡訓練や映像伝送システム等を使用した情報伝達訓練を行うほか、防災週間の期間中に全社員を対象として災害用伝言板サービス等を使用した安否報告訓練を実施する。	新潟支社広報 025-248-5107
長野	長野支社管内全般 (豊野駅・松本駅・辰野駅・白馬駅・戸狩野沢温泉駅・小海駅)	9/1(月) 7:00～11:00	安否確認 約2500人 実働訓練 約250人	長野支社管内各地で震度6強の地震が発生したとの想定で、乗務中の社員除く全社員(休日社員も含む)を対象に安否確認、自職場及び駅長所在駅への非常参集訓練を行う。 また、支社対策本部及び情報連絡拠点を設置し、支社対策本部と情報連絡拠点及び被災駅との情報伝達、非常参集者の被災駅への出勤、被災想定駅においてのお客さま避難誘導、救助・応急救護及び初期消火訓練等を実施する。	長野支社広報 026-224-5304